

講義の案内

担当教員： 浅野 晃 [右の写真]

教員室： TA312

ウェブサイト：

浅野の講義サイト <http://racco.mikeneko.jp/Kougi/>で「画像情報処理」を選んでください。

また、<http://racco.mikeneko.jp/Kougi/2020a/IPPR/>でもアクセスできます。



浅野に連絡するには：

関大LMSの「メッセージ」を使ってください。

講義の内容

情報通信技術の急速な発展とともに、画像情報処理技術は近年ますます重要になってきています。しかし、画像処理技術はきわめて多岐にわたるもので、その全容を半年の講義で説明することはできません。一方、画像の簡単な操作であれば、Photoshopなどを弄ってみたり簡単なプログラムを組んでみる方が理解が進みます。そこで、本講義では、画像処理技術を本当に理解するために必要な数学の知識を重視して、画像処理のいくつかの技術を説明します。将来新たな技術を学ぶために必要な基盤的知識をつけることで、さらに新たな技術を生み出すための基礎とします。また、画像処理の関連分野として、視覚と色彩についても説明します。これらは、人間の感覚や心理にも関連する分野で、画像処理とはまた違った奥の深さを持っています。

なお、数学を説明するので数式はたくさん出てきますが、数式そのものを完全に理解する必要はありません。その数式を使って表現している「思考」や「発想」を理解してもらいたいと思います。

講義の進め方と成績評価

【注意】 下記は、2020 年度秋学期だけに適用される講義の進め方です。

2020 年度秋学期は、対面講義とオンデマンド配信を並行して行います。

講義に使うテキスト、スライド、ハンドアウト（縮小印刷用スライド）は、各回の対面講義の1週間前にウェブサイトで公開し、学期末まで掲載します。内容に著作権の制限がある場合には、受講生向けにはスライド・ハンドアウトを関大LMSで配信することがあります。

これらの材料を各自でダウンロードして予習の材料とし、また講義室に持参してください。講義室にパソコンやタブレットを持参して、テキストやスライドを講義中に閲覧してもかまいません。ただ、スマートフォンで読むのは、数式には小さな字が多いのでおすすめしません。

一方、オンデマンド配信用動画として、スライドに音声を録音したものを用意します。実写映像などを含むこともあります。動画は各回の対面講義の直後にウェブサイトで公開し、学期末まで掲載します。

また、各回の対面講義の直後に、関大LMSに「小テスト」を掲載します。回答期間は掲載後1週間とし、回答期間終了後に解説を学期末まで掲載します。

なお、最終回（1月15日）には、外部講師（NTTメディアインテリジェンス研究所・坂東幸浩博士）による特別講義を行います。

成績は、第1・2部に関する中間レポート50%、第3・4部と特別講義に関する期末試験50%で評価します。中間レポートを提出しなかった受講生は、期末試験の成績にかかわらず、この科目の成績は「不可」となります。期末試験は「持ち込み一切不可」とし、試験問題にヒントをつけることにしています。

△△ △◆△
≡・・≡ ≡o-o≡ どうぞよろしくお願いいたします。 浅野 晃
()~ ()~